

# 令和5年度ネットリサーチ「少子化対策」に関する調査結果報告書

## ■結果のポイント

- 結婚しない人が増えている理由としては、「経済力がないから」が50.5%で最も高く、「必要性を感じていないから」が33.7%と続く。
- 理想とするこどもの数については、「2人」が49.0%で最も高く、「3人」が21.9%、「わからない」が12.9%と続く。一方で、実際の（または予定している）こどもの数については、「0人」が29.5%で最も高く、「2人」が29.0%、「1人」が16.3%などとなっている。
- 「理想のこどもの数」より「実際の（または予定している）こどもの数」が少ない理由としては、「子育てのための経済的負担が大きいから」が48.1%で最も高く、「子育てのための肉体的・精神的負担が大きいから」が24.0%と続く。
- 今後力を入れてほしい少子化対策は「児童手当の拡充や保育料の軽減など、経済的支援の拡充」が42.4%、「若者の就労を支援し、経済的自立を促進」が35.4%、「保育所や幼稚園など子どもを預かる施設を増やす」が27.6%などであった。

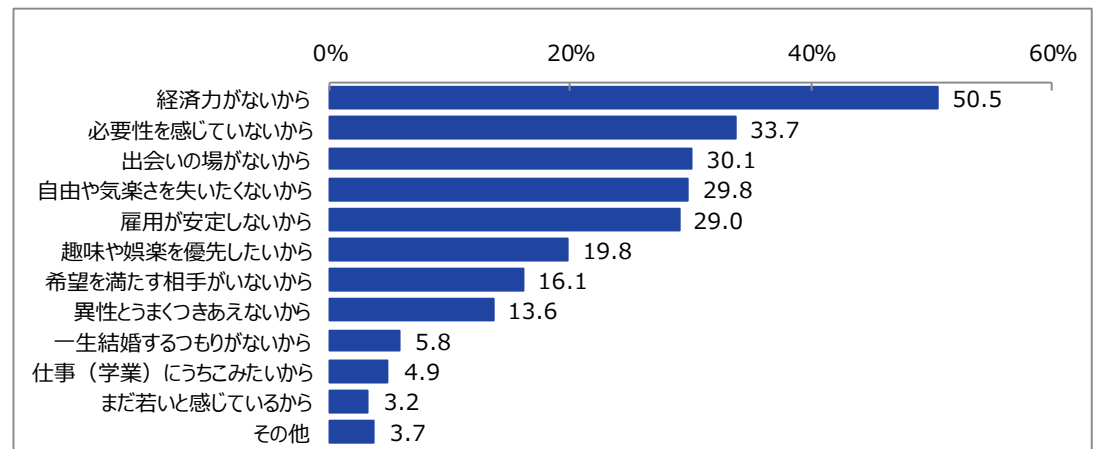
## ■調査結果の概要

### 1 結婚しない人が増えている理由

◇ 「経済力がないから」が50.5%で最も高く、「必要性を感じていないから」が33.7%と続く。

Q1.少子化の大きな要因は、未婚化・晩婚化といわれています。あなたは、以前と比べて結婚しない人が増えている理由は、何だと思えますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
経済力がないから	50.5	505
必要性を感じていないから	33.7	337
出会いの場がないから	30.1	301
自由や気楽さを失いたくないから	29.8	298
雇用が安定しないから	29.0	290
趣味や娯楽を優先したいから	19.8	198
希望を満たす相手がいないから	16.1	161
異性とうまくつきあえないから	13.6	136
一生結婚するつもりがないから	5.8	58
仕事（学業）にうちこみたいから	4.9	49
まだ若いと感じているから	3.2	32
その他	3.7	37

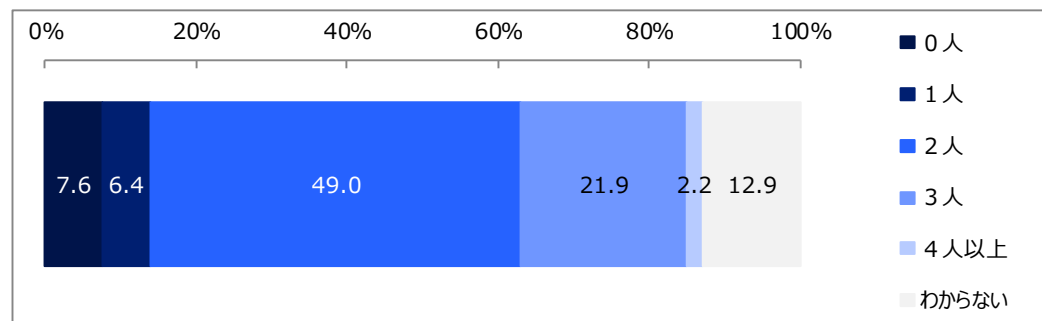


## 2 理想とすることどもの人数

◇ 「2人」が49.0%で最も高く、「3人」が21.9%、「わからない」が12.9%と続く。

県では、県民の子どもを産み育てる希望をかなえる視点から、県民が理想とすることどもの数と実際のことどもの数の差を減少させることを目指しています。  
Q2.あなたが理想とすることどもの数は何人ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
0人	7.6	76
1人	6.4	64
2人	49.0	490
3人	21.9	219
4人以上	2.2	22
わからない	12.9	129

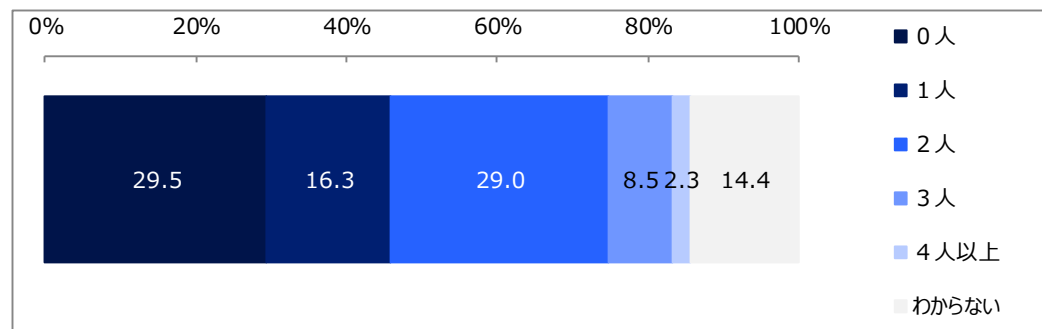


## 3 実際の（または予定している）ことどもの数

◇ 「0人」が29.5%で最も高く、「2人」が29.0%、「1人」が16.3%などとなっている。

Q3.実際の（または予定している）ことどもの数は何人ですか。次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
0人	29.5	295
1人	16.3	163
2人	29.0	290
3人	8.5	85
4人以上	2.3	23
わからない	14.4	144



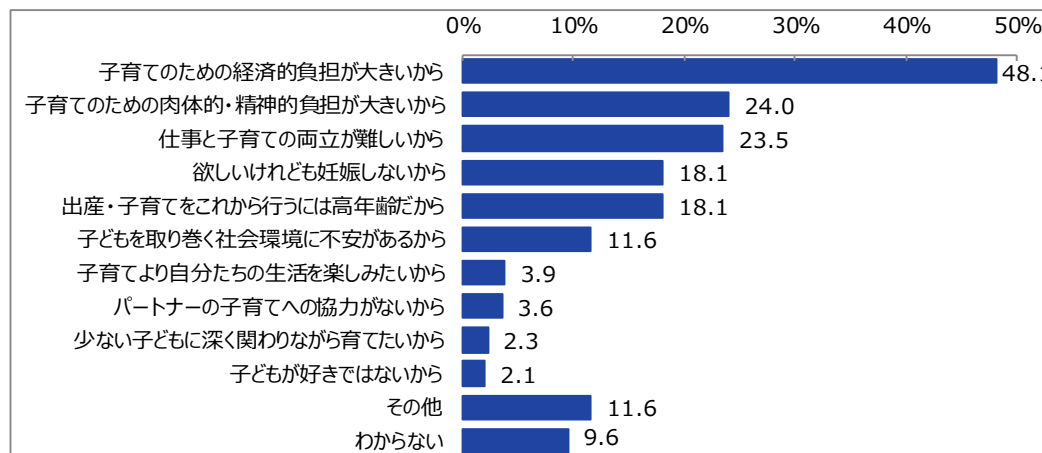
4 「理想のこどもの数」より「実際の（または予定している）こどもの数」が少ない理由

◇ 「子育てのための経済的負担が大きいから」が48.1%で最も高く、「子育てのための肉体的・精神的負担が大きいから」が24.0%と続く。

（「理想のお子さんの数」よりも「実際の（または予定している）お子さんの数」が少ない方へ）

Q4.「理想のお子さんの数」より「実際の（または予定している）こどもの数」が少ないのはどうしてですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	387
子育てのための経済的負担が大きいから	48.1	186
子育てのための肉体的・精神的負担が大きいから	24.0	93
仕事と子育ての両立が難しいから	23.5	91
欲しいけれども妊娠しないから	18.1	70
出産・子育てをこれから行うには高齢だから	18.1	70
子どもを取り巻く社会環境に不安があるから	11.6	45
子育てより自分たちの生活を楽しまたいから	3.9	15
パートナーの子育てへの協力が無いから	3.6	14
少ない子どもに深く関わりながら育てたいから	2.3	9
子どもが好きではないから	2.1	8
その他	11.6	45
わからない	9.6	37

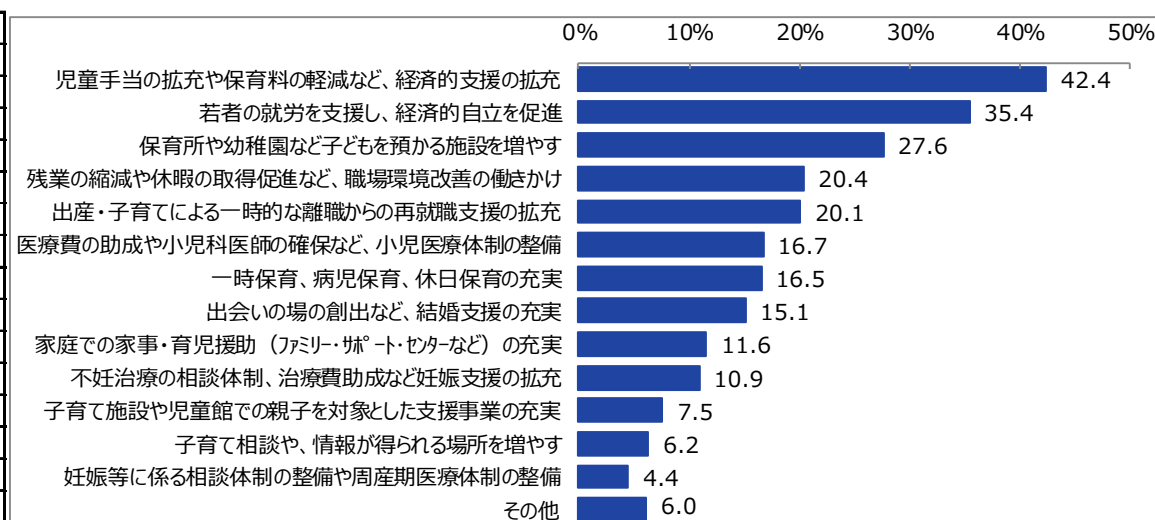


5 今後力を入れてほしい少子化対策

◇ 「児童手当の拡充や保育料の軽減など、経済的支援の拡充」が42.4%、「若者の就労を支援し、経済的自立を促進」が35.4%、「保育所や幼稚園など子どもを預かる施設を増やす」が27.6%などであった。

Q5.あなたは、少子化対策として、今後どのような面に力を入れてほしいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

	%	n
全体	100.0	1000
児童手当の拡充や保育料の軽減など、経済的支援の拡充	42.4	424
若者の就労を支援し、経済的自立を促進	35.4	354
保育所や幼稚園など子どもを預かる施設を増やす	27.6	276
残業の縮減や休暇の取得促進など、職場環境改善の働きかけ	20.4	204
出産・子育てによる一時的な離職からの再就職支援の拡充	20.1	201
医療費の助成や小児科医師の確保など、小児医療体制の整備	16.7	167
一時保育、病児保育、休日保育の充実	16.5	165
出会いの場の創出など、結婚支援の充実	15.1	151
家庭での家事・育児援助（ファミリー・サポート・センターなど）の充実	11.6	116
不妊治療の相談体制、治療費助成など妊娠支援の拡充	10.9	109
子育て施設や児童館での親子を対象とした支援事業の充実	7.5	75
子育て相談や、情報が得られる場所を増やす	6.2	62
妊娠等に係る相談体制の整備や周産期医療体制の整備	4.4	44
その他	6.0	60



## ■調査の目的

県民の少子化の現状を把握し、こども基本法第10条に規定する都道府県こども計画策定や、今後の県施策の資料とするため調査を行う。

## ■実施概要

・実施期間：令和5年11月24日～12月4日

・サンプル数：茨城県常住人口調査（令和5年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		114	245	94	359	188	1,000
性別	男性	59	125	50	185	99	518
	女性	55	120	44	174	89	482
年代別	18～29歳	18	41	16	68	33	176
	30歳代	17	42	16	62	30	167
	40歳代	23	55	21	83	41	223
	50歳代	28	57	21	79	42	227
	60歳代	28	50	20	67	42	207

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。